

2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月13日

上場会社名 株式会社エプコ 上場取引所 東
 コード番号 2311 URL <http://www.epco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役グループCEO (氏名) 岩崎 辰之
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役CFO (氏名) 吉原 信一郎 (TEL) 03-6853-9165
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 2020年9月2日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (株主様・機関投資家様向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	2,054	3.6	206	△16.6	249	7.3	171	20.3
2019年12月期第2四半期	1,984	9.8	247	18.3	232	53.9	142	80.4

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 152百万円(29.8%) 2019年12月期第2四半期 117百万円(128.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	19.24	—
2019年12月期第2四半期	16.00	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	3,630	3,165	87.2
2019年12月期	3,619	3,168	87.5

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 3,165百万円 2019年12月期 3,168百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	12.50	—	17.50	30.00
2020年12月期	—	12.50			
2020年12月期(予想)			—	15.00	27.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,337	4.5	377	△32.7	452	△24.3	314	△26.6	35.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をあわせてご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社 (社名) 株式会社ENE's

(注)詳細は、添付資料P.7「2.四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)をご覧ください。なお、2020年8月1日付でシステムハウスエンジニアリング株式会社から株式会社ENE'sへ社名を変更しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	9,316,000株	2019年12月期	9,316,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期2Q	404,045株	2019年12月期	404,045株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	8,911,955株	2019年12月期2Q	8,912,023株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1.(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、第15回 経営計画説明会(2020年12月期第2四半期)を下記の要領で開催いたします。

【日時】: 2020年8月28日(金) 19:00~20:00

【開催方式】: オンライン(Zoomウェビナー)

【申込方法】: 8月26日(水)までに、下記URLよりお申込みください。

お申込みいただいた方にZoomウェビナーへの参加用URLを送信いたします。

【申込URL】: <https://ws.formzu.net/sfgen/S74190722/>

【担当】: コーポレート本部 石永(いしなが)、佐藤(さとう)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(企業結合等関係)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 販売の状況(連結)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の発出後、社会・経済活動が急速に停滞したことにより厳しい状況となりました。また、当該感染症の収束の見通しは立っておらず、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが主に関連する住宅産業におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により住宅業界全般で事業活動自粛の動きが見られたことに加えて、昨年10月に実施された消費税の増税に起因する住宅着工の反動減の影響が続いております。当第2四半期連結累計期間(2020年1月～6月)の住宅着工戸数は前年同期比で11.4%の減少(持家13.7%の減少、貸家11.0%の減少)を示しており、予断を許さない状況であると認識しております。

このような事業環境の中、当社グループは、新型コロナウイルス感染防止対策による影響を最小限にとどめるべく、各事業にてBCP(事業継続計画)を速やかに実行するとともに、今後に向けた取り組みとしては、BIM(building information modeling)を活用した新しい事業モデルの創造に注力しつつ、2020年3月にはシステムハウスエンジニアリング株式会社(現・株式会社ENE's)の株式を取得し、100%子会社化することで、E-Saving事業のさらなる拡大に向けた足場固めを進めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,054百万円(前年同四半期比3.6%増)、営業利益206百万円(前年同四半期比16.6%減)、経常利益249百万円(前年同四半期比7.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益171百万円(前年同四半期比20.3%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間より株式会社ENE's(旧・システムハウスエンジニアリング株式会社)を連結子会社としたことに伴い、当第2四半期連結会計期間より報告セグメント「E-Saving事業」を追加しております。

なお、2020年8月1日付でシステムハウスエンジニアリング株式会社から株式会社ENE'sへ社名を変更しております。

また、当第2四半期連結会計期間より、当社グループが行う事業をより適切に表現するため、「設計サービス事業」、「メンテナンスサービス事業」のセグメント名称を、「D-TECH事業」、「H-M事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報の集計数値に与える影響はありません。

なお、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

① D-TECH事業(旧・設計サービス事業)

前述のとおり当第2四半期における新設住宅着工戸数が減少したことにより、当社の設計受託戸数も減少した結果、売上高は1,114百万円(前年同四半期比11.7%減)となりました。これに対して、昨年まで取り組んできた中国設計拠点(深セン・吉林)の移管及びITを活用した業務改善活動の効果により、既存業務における設計費用は837百万円(前年同四半期比11.0%減)に減少しております。これらの活動に加えて、中長期に向けた取り組みとしてBIMを活用した新事業モデルへの投資(主に人件費)に伴い62百万円の営業費用が発生した結果、営業利益は214百万円(前年同四半期比31.7%減)となりました。

② H-M事業(旧・メンテナンスサービス事業)

既存得意先における預かり顧客数及び受電件数が堅調に増加したことによりインバウンドサービスの売上が増加した結果、売上高は586百万円(前年同四半期比2.0%増)となりました。一方、業務効率化による一人当たり生産性の向上及び業容拡大により売上に対する固定費率が低下したことから、営業利益は149百万円(前年同四半期比16.4%増)となりました。

③ E-Saving事業(新設)

太陽光発電システム施工、オール電化住宅設備施工、クリーンエネルギー設備施工を主な事業内容とする株式会社ENE's(旧・システムハウスエンジニアリング株式会社)を連結子会社としたことに伴い、当第2四半期(4～6月)より報告セグメント「E-Saving事業」を追加しております。

本セグメントの売上高は144百万円、営業損失は5百万円となりました。

④ システム開発事業

継続収入である電力需給・顧客管理システム(ENESAP)利用サービスの提供による売上が堅調に推移し、またこれに付随する受託開発売上が増加した結果、売上高は209百万円(前年同四半期比42.5%増)、営業利益は20百万円(前年同四半期は営業損失34百万円)となり、黒字転換を果たしております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて13.2%減少し、1,982百万円となりました。これは、主として現金及び預金が338百万円減少したことによりです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて23.4%増加し、1,648百万円となりました。これは、主として株式会社ENE's(旧システムハウスエンジニアリング株式会社)を連結子会社化したことにより有形固定資産が238百万円増加したことによりです。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて、0.3%増加し、3,630百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて3.3%減少し、423百万円となりました。これは主として買掛金が30百万円増加した一方で、株主優待引当金が28百万円減少し、また未払法人税等が11百万円減少したことによりです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて233.4%増加し、41百万円となりました。これは主として株式会社ENE'sを連結子会社化したことにより退職給付に係る負債が29百万円増加したことによりです。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末と比べて3.3%増加し、465百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.1%減少し、3,165百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益171百万円を計上した一方で、配当金の支払156百万円及び為替換算調整勘定が18百万円減少したこと等によりです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ338百万円減少して1,158百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、199百万円(前年同四半期は173百万円の増加)となりました。これは、税金等調整前四半期純利益249百万円及び減価償却費84百万円を計上した一方で、法人税等の支払額91百万円が発生したこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、370百万円(前年同四半期は41百万円の減少)となりました。これは主として、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出238百万円、有形固定資産の取得による支出75百万円及び無形固定資産の取得による支出47百万円を計上したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、156百万円(前年同四半期は133百万円の減少)となりました。これは主として、配当金の支払額156百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う社会・経済活動の急速な停滞を受けて、現時点において入手可能な情報や予測等を踏まえ、2020年12月期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(2020年8月13日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,497,694	1,158,727
受取手形及び売掛金	635,627	588,472
仕掛品	63,605	105,704
その他	88,192	131,129
貸倒引当金	△1,289	△1,338
流動資産合計	2,283,830	1,982,695
固定資産		
有形固定資産	349,195	587,338
無形固定資産	252,904	279,114
投資その他の資産		
関係会社株式	317,055	343,953
関係会社出資金	163,120	173,095
繰延税金資産	36,429	37,853
その他	216,763	226,930
投資その他の資産合計	733,368	781,831
固定資産合計	1,335,468	1,648,285
資産合計	3,619,299	3,630,980
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,727	37,632
未払法人税等	82,287	71,285
賞与引当金	21,018	22,123
株主優待引当金	35,464	7,065
その他	292,711	285,649
流動負債合計	438,209	423,757
固定負債		
退職給付に係る負債	—	29,773
長期未払金	11,360	11,360
その他	1,111	444
固定負債合計	12,471	41,578
負債合計	450,680	465,335
純資産の部		
株主資本		
資本金	87,232	87,232
資本剰余金	118,032	118,032
利益剰余金	3,018,243	3,033,786
自己株式	△202,855	△202,855
株主資本合計	3,020,652	3,036,196
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	147,965	129,448
その他の包括利益累計額合計	147,965	129,448
純資産合計	3,168,618	3,165,645
負債純資産合計	3,619,299	3,630,980

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	1,984,139	2,054,870
売上原価	1,165,946	1,334,354
売上総利益	818,192	720,515
販売費及び一般管理費	570,891	514,338
営業利益	247,301	206,177
営業外収益		
受取利息	1,198	407
持分法による投資利益	—	41,538
為替差益	1,507	—
受取手数料	1,446	—
その他	946	3,741
営業外収益合計	5,097	45,687
営業外費用		
持分法による投資損失	19,934	—
為替差損	—	2,742
その他	201	—
営業外費用合計	20,135	2,742
経常利益	232,262	249,123
特別利益		
新株予約権戻入益	1,106	—
特別利益合計	1,106	—
特別損失		
固定資産除売却損	21,094	78
特別損失合計	21,094	78
税金等調整前四半期純利益	212,274	249,044
法人税、住民税及び事業税	49,298	62,932
法人税等調整額	20,366	14,608
法人税等合計	69,664	77,541
四半期純利益	142,609	171,502
親会社株主に帰属する四半期純利益	142,609	171,502

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	142,609	171,502
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	956	—
為替換算調整勘定	△23,586	△14,932
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,138	△3,584
その他の包括利益合計	△24,769	△18,516
四半期包括利益	117,840	152,985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,840	152,985
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	212,274	249,044
減価償却費	96,703	84,821
受取利息及び受取配当金	△1,198	△407
持分法による投資損益(△は益)	19,934	△41,538
有形固定資産除却損	21,094	78
売上債権の増減額(△は増加)	△25,990	134,634
仕入債務の増減額(△は減少)	△41	△8,737
仕掛品の増減額(△は増加)	△42,457	△16,740
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△55	△102
賞与引当金の増減額(△は減少)	△13,066	△8,259
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	5,569
株主優待引当金の増減額(△は減少)	△30,312	△28,399
未払金の増減額(△は減少)	9,225	△11,162
その他	14,270	△67,689
小計	260,381	291,110
利息及び配当金の受取額	4,397	355
法人税等の支払額	△114,889	△91,511
法人税等の還付額	23,376	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	173,265	199,954
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	350,750	—
有形固定資産の取得による支出	△326,194	△75,967
無形固定資産の取得による支出	△71,026	△47,799
敷金及び保証金の差入による支出	△572	△8,841
敷金及び保証金の回収による収入	19,007	86
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△238,302
その他	△13,167	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,204	△370,824
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△43	—
配当金の支払額	△133,260	△156,230
財務活動によるキャッシュ・フロー	△133,303	△156,230
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,351	△11,867
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,594	△338,967
現金及び現金同等物の期首残高	1,398,541	1,497,694
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,382,946	1,158,727

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
連結の範囲の重要な変更 第1四半期連結会計期間において、システムハウスエンジニアリング株式会社(現・株式会社ENE's)の全株式を取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(企業結合等関係)

2020年3月30日に行われたシステムハウスエンジニアリング株式会社(現・株式会社ENE's)の子会社化について、第1四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行っていましたが、当第2四半期連結会計期間に確定しております。この暫定的な会計処理の確定に伴う金額の変動はありません。

発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

- ① 発生したのれんの金額
17,318千円
- ② 発生原因
今後の事業展開によって期待される超過収益力であります。
- ③ 償却方法及び償却期間
10年間にわたる均等償却

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	D-TECH	H-M	E-Saving	システム開発	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,261,669	575,719	—	146,749	1,984,139	—	1,984,139
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,261,669	575,719	—	146,749	1,984,139	—	1,984,139
セグメント利益又は損失(△)	313,763	128,285	—	△34,602	407,445	△160,144	247,301

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△160,144千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	D-TECH	H-M	E-Saving	システム開発	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,114,584	586,927	144,201	209,156	2,054,870	—	2,054,870
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,114,584	586,927	144,201	209,156	2,054,870	—	2,054,870
セグメント利益又は損失(△)	214,393	149,345	△5,684	20,861	378,916	△172,738	206,177

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△172,738千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より株式会社ENE's(旧・システムハウスエンジニアリング株式会社)を連結子会社としたことに伴い、当第2四半期連結会計期間より報告セグメント「E-Saving事業」を追加しております。

なお、2020年8月1日付でシステムハウスエンジニアリング株式会社から株式会社ENE'sへ社名を変更しております。

また、当第2四半期連結会計期間より、当社グループが行う事業をより適切に表現するため、「設計サービス事業」、「メンテナンスサービス事業」のセグメント名称を、「D-TECH事業」、「H-M事業」に変更しております。この変更はセグメント名称の変更であり、セグメント情報の集計数値に与える影響はありません。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。

3. 補足情報

(1) 販売の状況(連結)

(単位:千円)

セグメントの名称		前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	
		金額	構成比	金額	構成比
D-TECH	設備設計(給排水・電気)	969,540	48.9%	847,349	41.2%
	建築設計	224,749	11.3%	203,129	9.9%
	エネルギー設計	67,379	3.4%	64,105	3.1%
	小計	1,261,669	63.6%	1,114,584	54.2%
H-M		575,719	29.0%	586,927	28.6%
E-Saving		—	—	144,201	7.0%
システム開発		146,749	7.4%	209,156	10.2%
合計		1,984,139	100.0%	2,054,870	100.0%